

(様式3)

## 自己評価結果票 (フルーツ ユニット)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域において普通の生活が営まれるように、理念を掲げている。		
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	センター内に掲示し、朝礼にて職員全員で唱和している。		
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議の中で、自治会長、民生委員、家族の方、婦人会の方に、理解して頂く様に話し合いの場を持った。		2回目となり、今後継続して行きたいと思っています。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々挨拶を交わしたり、夏祭り等の行事には声を掛けさせて頂いている。毎月、自治会長、民生、婦人会長、公民館等への挨拶、イベント紹介等を行っている。		チラシ等でお誘いする様に心掛けています。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の寺の祭り、行事等には参加する様に心掛けています。又、トライアル、ボランティアの受け入れを行っている。		地域の清掃活動へも参加させて頂きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方々には、気軽に挨拶を交わし、会話をしている。		グループホームの行事に、気軽に参加して頂ける様、広報活動をしていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の注意点を把握して、サービス提供表作成、家族様とアセスメント等を密に行っている。		利用者様の個性性を考えたケアを行える様に努める。
8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状況報告等をさせて頂き、改善に向けた努力、及びこれからの課題に取り組んで行う事の了承を受けた。		積極的な開催を行う様、自治会、家族への協力依頼を行う事。
9	市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から提供される研修への参加を行っている。		市町担当者と密に連絡が取れるようにする事。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、必要性のある利用者は1名おられ、家族様とは、話し合う機会も多い。		職員への勉強会を行いたい。知識の向上をさせていきたい。
11	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の体調の変化には充分気をつけている。		職員の知識の向上、周知につなげたい。職員間の悩みを聞く時間を持ちたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書に基づいて説明を行い、家族の質問には十分に説明を行い、納得していただいている。正確な情報の提供を必要としている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者は自由に発言出来る機会をもっており、又、意見を傾聴する様な声掛けを行っている。</p>	<p>表出されないニーズに目を向けたケアに取り組んでいきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理、暮らしぶりや健康状態は、家族様来所時、出納帳、介護記録を見て頂いて、捺印を頂いている。体調不良時は、特に連絡を密にし、専門科への受診依頼もお願いしている。</p>	<p>連絡を密にする事でさらなる信頼関係の構築に努めていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>"ご意見箱"の設置、家族会での報告等で、職員は把握し、改善に向けた取り組みを持っている。</p>	<p>家族が自由に意見を出せる様、アンケートなどの実施をしていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議、ユニット会議、リーダー会議を月1回行い、職員の意見を出し合っている。随時、個人面談を行って、意見等を聞く様になっている。</p>	<p>職員が自由に意見交換できる様に配慮していきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>十分な人員配置に心掛け、勤務調整や業務調整に柔軟な対応を行っている。</p>	<p>利用者様、家族様のニーズに応じる様に努めている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動や退職には迅速に人員補充を行っている。		人材の確保に努めていく。
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	会社内外の研修参加に努めていると共に、全体会議での勉強会を行っている。		研修参加をさらに勧めて行きたい。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他の施設訪問して、交流を持ち、お互いの情報交換している。 助言を受ける体制作りを行っている。		交流の幅を広げていきたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	会社内に悩み相談、フリーダイヤルが設置されている。		職員がストレスを溜め込まない、配慮を継続していく。
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	個人の能力に応じた、努力を評価している。		職員が向上心を持って仕事ができる様、支援していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入所を希望される理由や本人の意思や能力の情報収集に努めている。	残存能力を把握出来る様に努めて行きたい。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	何度も話し合いをする機会を作り、家族の希望に応じられる様、ケアマネジャーなどを通して、把握出来る様に努めている。	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	グループホーム入所まで、待機していただいた場合があるため、その期間在宅でのサービスを受ける事を説明(ディ・ショート等)	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所申し込み事前に、利用者に会い、実調を家族と同伴で行う事している。入所時は、個別に対応する時間を多く持ったり、他の利用者との関係が良好になる様、説明、理解を求める。	家族と職員の連携を保って行きたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者様の生活歴より、教えて頂く事がある場合、又、発揮できる場面作りに努めている。	教わる場面作りを行う様に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	介護記録の開示や、介護計画書などにより、情報の共有を行っている。ニーズに変化がみられないか、把握する様努めている。		信頼関係を築き、介護への協力体制をお願いしたい。
29	利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所時は利用者とキーパーソンとの関係にも目を向けたアセスメントを行っている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方や友人が気軽に面会に来て頂ける様気を配っている。(施設の雰囲気づくり、職員の対応)		これまでの友人関係が今後も継続される様、支援していきたい。
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士で、誘い合う声掛けを行っている。対人関係が良好に保たれる様職員が間に入って調節している。		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても連絡はとっている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個別の関わりや生活の中で発見したニーズは実現されるよう、話し合う場を持っている。</p>	<p>利用者の関わりを大切にしたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族に生活歴等を聞きとり、把握するようにしている。職員は情報が共有できるようにしている。</p>	<p>ケアプラン作成時、家族の意向も聞いている。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の残存能力を活かしたり、現在のできる事を手伝っていただいたり、趣味を活かす等望まれる生活が送れる様、支援してる。</p>	<p>利用者がその人“らしい”生活となる様、支援して行く。</p>
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本位の介護計画の作成を行っている。家族へ説明を行い、同意に基づき捺印して頂いている。</p>	<p>個別処遇の話し合いで実施している。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の変化、介護認定後に合わせ、介護計画へ随時加筆、修正を行っている。</p>	<p>見直しをして、ニーズの変化をみつけられる様に努める。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りで伝達し、連絡ノートの記入により職員間で共有を行っている。		申し送りが正確に行われる様、伝達方法に工夫を加えて行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能（通所介護）を最大限に活用し、ニーズに応じた支援を行っている。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の婦人会の慰問、ボランティアの受け入れ、小学生との交流会、トライヤルの受け入れ、消防訓練等、介護に生かしている。		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループに入居されているので、他のサービスを利用するた為の支援を行っていない。		
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は関わりはないが、通所介護との関わりはあるので、運営推進委員会に参加を依頼し、了解を得ている。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者、家族様の意向に添った受診が受けられるよう、医療との連携を保っている。		受診内容、結果を正確に家族へ伝えていっている。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	現在は専門医に受診されている方は数名ではあるが、家族共に同行させて頂いている。		今後専門医との係わりを保つように努めていきたい。
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	24時間対応を行い、利用者様の身体症状の変化や急変に対応し、医療連携を実施している。		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	職員が随時面会に行ったり、現在の病状について病院職員と情報交換を行ったり、身のまわりの世話の援助を行っている。		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	身体の変化により、主治医より家族への説明、会議にて話しあう場を持っている。		ターミナルケアについての意向を、再度、家族へ聞く機会を持ちたい。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	かかりつけ医との連携はとれており、家族への説明も行い、状態に応じた対応をしている。		家族や利用者にとって最善な選択がされる様協力行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の 居所へ移り住む際、家族及び本人に関わる ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住み替えによるダメージを防ぐこ とに努めている	利用者の心身の負担を最小限である様努めてい る。		家族との話し合いを密に行って行きたい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
(1)一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	あるがままに受け止める事を大切に、声掛 けやその方に合わせた対応を行っている。ま た、個人情報の取り扱いに関する同意書を交わ し、プライバシーの確保に努めている。		顔なじみの関係であっても、礼儀をわきまえ、言 動に気をつけていく。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働き かけたり、わかる力に合わせた説明を行 い、自分で決めたり納得しながら暮らせる ように支援をしている	利用者が自己表現しやす様、場面に応じた声掛 けを行っている。		
52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	その日の衣服を選んで頂いたり、掃除、調理 等、希望にそって支援している。		希望に応じた生活を支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	更衣は利用者にまかせてあり、選択は自由であ り、パーマ・カット等本人の望む店に送迎した りしている。 訪問理容を利用している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じ、調理、配膳、片付けなどをして頂いている。盛り付けなど五感への働きかけを大切にしている。		食事作りを共に行って行きたい。
55	利用者の嗜好の支援  利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の嗜好に配慮し、希望に応じ、提供されている。		今以上に希望をお聞きする。
56	気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表による管理及び誘導、声かけにて支援し、夜間ポータブルトイレの使用等出来るだけおむつの使用を減らしている。		
57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や時間帯は決まっているが、利用者の体調に合わせた柔軟な対応を行っている。個別入浴を行っており、浴槽の深さも個々の状態に合わせている。		
58	安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間、安眠ができる様、日中の活動参加を促し、生活リズムが保たれる支援を行っている。		体調に合わせた対応を行っていく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力を見極め、その人らしさの中で役割作りをしている。		気晴らしの支援をもっと出来る様に努めたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の管理能力の有無に係わらず、希望に応じ所持されているが、紛失時の責任の所在については家族に了承して頂いている。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天気や利用者の希望に応じた対応が行われている。		買い物、散歩、ドライブなど積極的に取り入れていく。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回車や歩いて出掛ける。行事予定をたてたり、家族様と出掛ける利用者もおり、支援している。家族へは気兼ねなく申し出て頂ける様、お伝えしている。		外出を増やしたい。
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話を置いている方もおられたり、家族様から日々かかる電話を取り次いだり支援している。		年賀状を家族に出す。
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気持ち良く来所して頂ける様、環境への配慮に気を配っている。 個人面会簿も作成している。		馴染みの関係が継続し、良好に保てる様にしていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない介護を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	グループホーム玄関には鍵はかかっているが、交通量も多く道路に面しており、家族の方にも契約時説明し、理解して頂いている。		居室の鍵をかけられる利用者がおられるが、プライバシーに配慮した対応を行っていききたい。
67	利用者の安全確認  利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間の連携を保ちながら、利用者の位置と様子は把握している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	臨機応変に個々に応じた対応が出来ている。		
69	事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態の変化を把握し、すぐ対応出来る様になっている。また、事故防止の為に、ヒヤリハット作成等行っている。		さらなる勉強会を行いたい。
70	急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生時、バイタル測定、呼名反応の有無、痛覚有無等の手当てが行える様になっている。		定期的に課題を決め、勉強会を行っていききたい。
71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を実施している。スプリンクラーの設置も完備されていて、消火器使用訓練も行っている。		職員全体周知出来ているか、確認する事と、緊張感を常にもっておきたい。自主訓練を行っていききたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	高齢による病気、転倒等の事故の可能性は家族に説明できている。また、受診時Dr(医師)からの所見は知らせている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	すぐにかかりつけ医に連絡をして、指示をあおいでいる。日常のバイタルチェックを行い「いつもと何か違う」ということの気づきを共有している。家族へは連絡を必ず行っている。		
74	服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の病気を理解し、内服の情報も薬剤師より説明を受け、管理出来ている。用法や用量も理解で出来、服薬のチェックをも実施している。		状態観察を行っていききたい。
75	便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表により排便の有無を見ることが出来、食事、水分にて工夫したり、ラジオ体操やレクリエーションで行うリハビリ体操等で運動している。		排便管理を正確にしていききたい。
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声掛けを行い口腔ケアを実施している。夜間は義歯洗浄を行っている。		家族、利用者の理解を得た上で、歯科の定期的な受診を勧めて行きたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表、食事量のチェックは必ず行っている。夜間、配茶等の実施も行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルは職員がいつでも見られる様にしている。又、全体会議での看護師による勉強会も行われている。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日届き、日付記入、管理はもちろん行い、布巾の煮沸消毒を実施し、衛生管理を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花を植え、誰でも出入りできる様道路側に設置されている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンの開け閉め、テレビの音量の調節は利用者によって率先して行われている。作品の展示、フラワーアレンジメント実施により季節感を採り入れている。		居心地の良い空間作りをする。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いたり、又、1人掛けの椅子を設置したりして、思い思いに過ごして頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時より馴染みの家具等の持ち込み等をして頂き、ベッドや畳と思いつきの配置をして頂いている。		利用者の身体の変化も対応出来る様努めたい。
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓の開閉をしたり、空気の入替え、体感により設定したり、温湿度計のみにならず、調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床もクッション材使用され、手摺り設置等安全に生活できるように工夫されている。		自立支援を行っていきたい。
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の能力を見極め、張り合いの生活が送れる支援を行っている。 出来る事は出来るだけして頂ける様にしている。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節の野菜を植えたり、花を植えたりして共に育てている。建物の外にベンチを置いて外気浴したりしている。		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目 (フルーツ ユニット)		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・生活のリズムには無理がなく、通所があるので、ボランティアの導入も多くあり、利用者様の生活に変化がある。
- ・誕生日は個々に行い、利用者にはプレゼント、ケーキを召し上がっていただき、喜びを共感する事になっている。
- ・毎朝独自の体操を行っている。
- ・毎年、高齢者作品展に出品している。
- ・独自のブログを作成し、インターネット上で公開している。
- ・家族様へは健康管理について密に連絡している。

(様式3)

## 自己評価結果票 (フラワー ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域において普通の生活が営まれる様に理念を掲げている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者と職員は理念を理解するよう努力し、日々のケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎日朝礼で唱和をしたり、職員のロッカー等に掲示してある。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の中で、今後の連携等の協力を得るよう話し合いました。</p>	<p>2回目となり、今後継続して行きたいと思います。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>立地条件上、工場があり、ご近所が少ない為、日常的な付き合いは、散歩等の外出時に、挨拶をする程度です。</p>	<p>行事がある時は、チラシ等でお誘いするよう心掛けています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>小学校の音楽会に参加させて頂いたり、トライアルウィークの協力、お寺のバザー等参加できるよう心掛けています。又、婦人会の皆様より慰問して頂いたりしています。</p>	<p>地域の行事、祭り、又は掃除等への参加等、活動の幅を広げていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方々には、気軽にあいさつを交わし、会話している。		行事等、ポスティングを継続していく。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価内容を見て改善への取り組みが行われるよう話し合った。		改善に向けた計画書の作成等、個別ケアを考えていく。
8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で取り組み内容の報告等を了承して頂き、今後の課題に取り組んで行くよう努力する。		定期的な開催、積極的な参加の協力の依頼を行う。
9	市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から提供される研修等の参加。		密に連絡が取れるようにする。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度については、まだ勉強会を行っていない。		今後、早急に研修を行いたい。
11	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の体調の変化には充分気をつけている。		職員の知識の向上、周知につなげたい。 職員間の悩みを聞く時間を持ちたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、家族・利用者様の不安な気持ちを十分配慮し、正確な情報の提供に心掛けている。</p>	<p>勤務経験に関係なく、利用者様・家族様に十分な説明を行いたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様、個人個人のニーズを尊重した個人ケアに取り組んでいる。</p>	<p>ご本人が表せないニーズに目を向けたケアを行いたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族様来所時には、金銭管理等の書類を提出して、日常生活の内容等の説明を行っている。</p>	<p>来所時なので、来所が少ない家族様への対応にも、文書等で連絡をして行きたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来所時には、目の付き易い所に「ご意見箱」を設置している。 電話での苦情窓口も設置しています。</p>	<p>アンケートもなかなか出ていないので、自由に意見が出る様な方法を検討していきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議月1回、ユニット会議月1回、リーダー会議月1回と、できるだけ多くの機会を設けている。又、面接の実施も行っている。</p>	<p>会議の中で、自由に意見交換が出来る雰囲気作りに配慮したい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人員配置、勤務調整等には、出来る限り対応しています。</p>	<p>利用者様の対応にすぐに応じられるような調整を行っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職にはすぐ人員補充を行い、サービスに支障がないように努めています。		人材の確保に努めています。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修参加に努めていると共に、全体会議で勉強会を行っている。		研修参加をさらに勧めて行きたい。
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設を訪問して、交流を持ち、お互いの情報を交換している。 助言を受ける体制作りをしている。		交流の幅を広げたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩みの相談、フリーダイヤルが設置されている。 職員全員に周知されている。		職員がストレスを溜め込まないよう、配慮をしていく。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人の能力を把握し、それを生かせる職場環境作りを行っている。		職員が向上心を持って仕事ができる様、支援していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所を希望される理由や本人の意志や能力の情報、収集に努めている。</p>	<p>残存能力を把握出来る様に努めて行きたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族の希望に応じられるように、ケアマネジャーを通して、把握出来る様に努めている。</p>	<p>公平で冷静な判断力をつけていきたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>グループホームが最適か判断している。 待機中は他の在宅サービス等がある説明を行う。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所申し込み事前に、利用者様に会い、実調を家族と同伴で行う事している。入所時は、個別に対応する時間を多く持ったり、他の利用者様との関係が良好になる様、説明、理解を求めている。</p>	<p>職員、家族との連携を保って行きたい。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様の生活経験等から、いろいろな能力・知識が発揮できるよう、誘導を行っている。</p>	<p>季節に応じた行事等を利用者様と一緒にいる。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	介護日誌、介護計画書等により、情報の共有を行うように努める。		家族会も必ず年1回は行き、信頼関係を築いていきたい。
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様とキーパーソンとなられる方との関係にも配慮したアセスメントを行っている。		家族関係の理解に努め、よりよい関係を築いていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様に気軽に面会に来て頂けるよう努めている。		利用者様の交友関係が途切れないように支援していきたい。
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の一人ひとりの性格の把握することにより、関わり合いが良好に、保たれるように支援する。		利用者様同士の友好関係を支援していきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了の利用者様に対しても、立ち寄って頂けるよう心掛ける。		家族様と事業者間との信頼関係を築く。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個別の係わりにより一人ひとりのニーズを尊重し、実現できるよう話し合い等をする。</p>	<p>利用者様を大切にする。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時のアセスメントを把握し、いろいろな職員からの情報の共有化ができる。</p>	<p>ケアプラン作成時に、担当会議等で利用者様の把握を行う。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>心身の状態により日中の過ごし方を把握するように努める。</p>	<p>利用者様一人ひとりが安心してすごせるように支援する。</p>
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>出来る限り利用者様本位の計画を作成していますが、意思の疎通が困難な場合、家族様との話し合いにより、説明し、捺印して頂いています。</p>	<p>担当者会議の内容に基づく計画の反映。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議の開催日等は、決まっていないが、毎月ユニット会議で利用者様の変化等の対応は話し合っている。</p>	<p>今後も、利用者様、家族様本位の計画を作成し、見直すようにしていく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケア等の変化は、業務連絡ノートに記入して、職員は仕事に入る前に必ず目を通すようにしている。		業務ノートの記録及び職員への口答の引継ぎを確実にを行う。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出、外泊、又は利用者様体調不良時の家族様の泊まり等を、その時に応じた対応をしている。		家族様泊り時は、食事等も用意させて頂いています。
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の団体（婦人会・ボランティア）や中学生とのトライアルウィークの受け入れや小学校音楽会への参加、寺院へのふれあい祭り、消防訓練等、地域との交流ができています。		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループに入居されている為、他のサービスを利用するた為の支援は特に行っていない。		終末期や老衰による状態など観察を行い、現場で学んでいきたい。
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	グループホームでは、地域包括センターとの係わりは持っていないが、通所介護との交わりはある為、今後、運営委員会に参加を依頼し、了解を得ている。		今後の課題として運営推進会議等に参加して、協力して頂けるような体制を行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者様、家族様との意向に添った医療受診を行っている。記録ノートの作成。個々別々のかかりつけ医との連携。		受診内容、結果を正確に家族へ伝えて、記録に残す。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	現在、専門医との受診を行っている利用者様は数名ですが、他の方は毎月2回、主治医の往診で対応。		医療との連携を保ち、職員が正しい知識が得られるように努力する。
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	馴染みのNS(看護師)の支援を受けている。少しの体調の変化にも相談している。		健康管理は、Dr(医師)、Ns(看護師)の協力の下で行って行くようにする。
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	今までの入院時には、家族様にお任せしていました。		今後は病院を訪問し、利用者様の状態をDr.を通じて把握する。 家族様の介護負担の軽減に協力する。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	ターミナルケアは行っていない。		今後は、職員一同知識を深め、ターミナルの受け入れも行っていきたい。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	利用者様の日々のレベル低下等の様子をDr.と密に連携をとり、緊急時の対応を検討している。		できるだけ利用者様にとって、一番良い方法を見極めて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	生活環境の変化は最小限にするよう努めている。		利用者様との生活の関わり方を連携をとり、情報交換していく。
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者様一人ひとりの人格の尊重をして、その方にあわせた声かけ等を行っている。個人情報の取り扱いについては、同意書を交わし、プライバシーの確保に努めている。		礼儀をわきまえ、言動に気をつける。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者様からの声かけが出来るような場面を作っていく。		自己決定が出来るよう声かけする。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者様、個々の生活のペースを大切にはなかなか実行できなくて、出来るだけ対応できる体制を整える。		利用者様の希望にそった生活の支援。
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	パーマ、カット、毛染め等は、利用者様の希望に添っている。		その人らしさを大切にして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理等は、一緒に出来ていません。時々1名の方のお手伝いがあります。下膳に関しては、動ける方は皆様協力して頂いております。		少しずつの参加から調理・片付け等を楽しんで頂きたい。
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、タバコ等は禁止になっていますが、おやつ等は楽しんで頂けるように工夫しています。		利用者様の希望を取り入れていきたい。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表により、排泄パターンをつかみ、声掛け、誘導を行っている。		排泄パターンにより、トイレでの排泄をして頂く。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴、曜日、時間帯は決まっていますが、体調や希望に応じて、変更した対応を行っている。		臨機応変に対応していきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の安眠の確保の為、昼夜逆転がないよう、声かけを行う。		年齢、体調にあわせた対応を行っていく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	能力を見極め、レベルに合わせた生活が送れるようにしています。		能力を生かし、維持していけるようにする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様により、ご本人が管理されていますが、紛失時の責任の所在は、平素より家族様と話し合っています。		利用者の所持金が紛失することがないように見守る。
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、体調により、戸外に出かけようと努力しています。		個別の対応ができるよう、積極的に取り組む。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を感じて頂くようにプランを立てて外出をしています。家族様と利用者様との外出等もあります。		家族様との協力を得ながら、普段行けないところへの計画を取り組みたい。
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかかって来たりすると取り次いだり、自宅に連絡を入れてほしいとの訴えがあれば、その都度対応している。		家族様には事前に連絡を入れても良いかどうかの確認を行っている。 年賀状を家族に出す。
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様が来所されたら、おもてなしのお茶をお出ししたり、楽しいひと時が過ごせるよう工夫している。		馴染みになり、信頼関係が良好になればと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない介護を行っています。		拘束は行っていません。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室等は施錠していないが、GH(グループホーム)玄関に関しては電気錠をしている。交通量が多いので危険である。家族には契約時説明了承して頂いている。		居室内の施錠は利用者様がされています。
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間の連携を取りながら、利用者の所在や様子を把握しています。		プライバシーの配慮も忘れずに支援を行う。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々に応じた対応が出来ている。		臨機応変に対応する。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の研修は行えていないが、何故、事故がおきたかをスタッフが話す機会を持つ。		ヒヤリハット等の記録を残す。
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急連絡網等の指示持系統は作成されているが、訓練が行えていない。急変時や臨終などの徴候について機会があれば、行っている。		急変時の訓練をしていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練は年1回行っている。		緊張感を持って訓練をして行きたい。スタッフ全員で自主訓練も行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	何名かの家族様には、高齢の為、病気、転倒等の可能性があることを説明し、Drより話し合いをもって頂いています。		リスクに注意しながらも自由に生活をして頂けるように支援する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調急変時は指示に基づき、往診又は受診を行う。家族様への連絡も入れる。		健康管理に注意し、少しでも変化があれば、対応する。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、説明書を確認し、分からなければDr.や薬剤師へ相談している。		副作用等には特に状態観察を忘れずに行う。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事及び適度な運動を心掛け、便秘予防に努めているが、無理な場合は下剤の使用等もDr.の指示により取り入れている。		排便チェックを正確に把握する。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	お一人で出来ない方には、毎食後、声かけをして、口腔ケアをして頂く。義歯は夕食後預るようにしている。		家族様の協力の元に、歯科受診をして頂いたり、職員が付添で受診したりしている。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表を作成し、午前中に水分の少ない方等には出来るだけ水分摂取をして頂くよう支援する。		いつも数名の方が水分量が少ないので、少量ずつでも摂取して頂けたらと思っています。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症にはマニュアルがあり、勉強会を行っている。(全体会議)		感染症予防に努めていきたい。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材をほぼ毎日購入し、冷蔵庫内も整理している。台所の器具等も消毒を行っている。		衛生管理の徹底。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には、花を植えていますが、出入口がすぐ車道のため、注意をしています。		季節ごとの花を植えて行き、通りすがりの人々に生活感を伝えたい。
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はカーテン等で光の調節を行ったり、ベランダに花を植えたりして、楽しんで頂く。		居心地の良い空間になるよう努力したい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファーもありますが、一人でくつろげる空間もあり、使い分けて過ごして頂いています。		一人での空間は比較的特定の方が利用されています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は使い慣れた物を置いていただくようになっています。居室内の様子も違いがあります。		荷物等で転倒等がないように、整理整頓が一緒にできるように支援を行う。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、空気の入替えを行ったり、室温の調節には配慮しています。		機械の温度調節や体感を利用して行う。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に生活が送れるようにしているが、危険が生じた場合は早急に対応していきたい。		残存能力が発揮できればと思います。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個別に自立できるよう工夫して、又、介助が必要な方は他利用者様に手伝って頂いたりしています。		何が出来るのかという事を見極めて支援していきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには花を植えたり、イスを置いたりしています。		安全に、又、楽しんで水やり等をして頂きたい。

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

.サービスの成果に関する項目 (フラワー ユニット)		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・通所があるので、ボランティアの協力も多くあり、利用者様の生活に変化をもつことができる。
- ・誕生日は個々に行い、プレゼントやケーキを召し上がっていただき、喜びの共感がある。
- ・掃除、花の水やり、洗濯たたみ等は毎日の日課で一緒にしています。
- ・独自の体操をしている。
- ・毎年、高齢者作品展に出展している。
- ・独自のブログを作成し、インターネットで公開している。家族様との連絡は密にしています。